

平成29年度修士課程（外国人留学生選抜）問題 目次

		ページ
	日本語試験	2～3
	専門試験	ページ
文化動態論	共生文明論	—
	アート・メディア論	4～5
	文学環境論	6～7
	言語生態論	—

平成29（2017）年度  
大阪大学大学院文学研究科（修士課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

日本語試験

[問題用紙は2枚あります。]

次の文章を読んで、後の問いに、日本語で答えなさい。答えはすべて解答用紙に書きなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。  
仲野徹「科学の進歩にともなう『反知性主義』」『日本の反知性主義』内田樹編(晶文社、2015年)270頁5行～272頁4行

問1 (1)～(5)の漢字に読み仮名を付けなさい。

(1) 軍配 (2) 示唆 (3) 相対的 (4) 障壁 (5) 見分け

問2 (ア)～(エ)に入ることばを、次の中から選んで記号で答えなさい。

a. たとえ b. しばしば c. あまりに d. さらに

問3 下線部(A)にある「専門化が進みすぎると、このように、ある意味で知性を閉ざしたような状態、いや、閉ざさざるをえない状態になってしまう」とはどういうことか、本文に即して説明しなさい。

問4 「科学は終焉を迎える(迎えた)か」という論争について、「科学」を「あなたの専門とする分野」に置き替えた場合、どのような議論が可能か、800字以内で自由に論じなさい。

平成 29 (2017) 年度  
大阪大学大学院文学研究科 (修士課程/外国人留学生選抜) 入学者選抜試験問題  
文化動態論専攻 アート・メディア論コース 専門試験

[問題用紙が 1 枚、別紙が 1 枚あります]

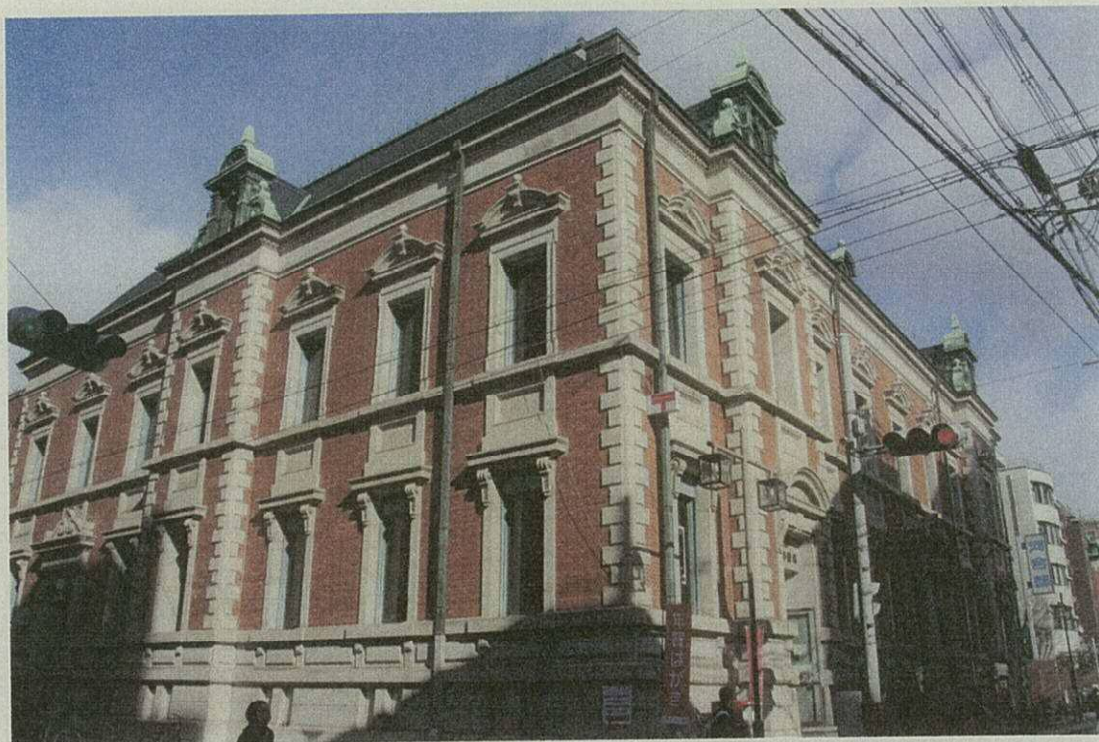
問 1 次に挙げる 8 つの用語もしくは固有名の内から自由に 5 つを選び、それぞれ 5 行程度で説明しなさい。

- |  |           |
|--|-----------|
| (1) ユニヴァーサル・スペース(universal space)      | (2) 舞台車   |
| (3) 文学的及び美術的著作物の保護に関するベルヌ条約            | (4) 押井守   |
| (5) ロバート・ウィルソン(Robert Wilson)          | (6) カメラ視線 |
| (7) ヴェネツィア・ビエンナーレ(Biennale di Venezia) | (8) 立原道造  |

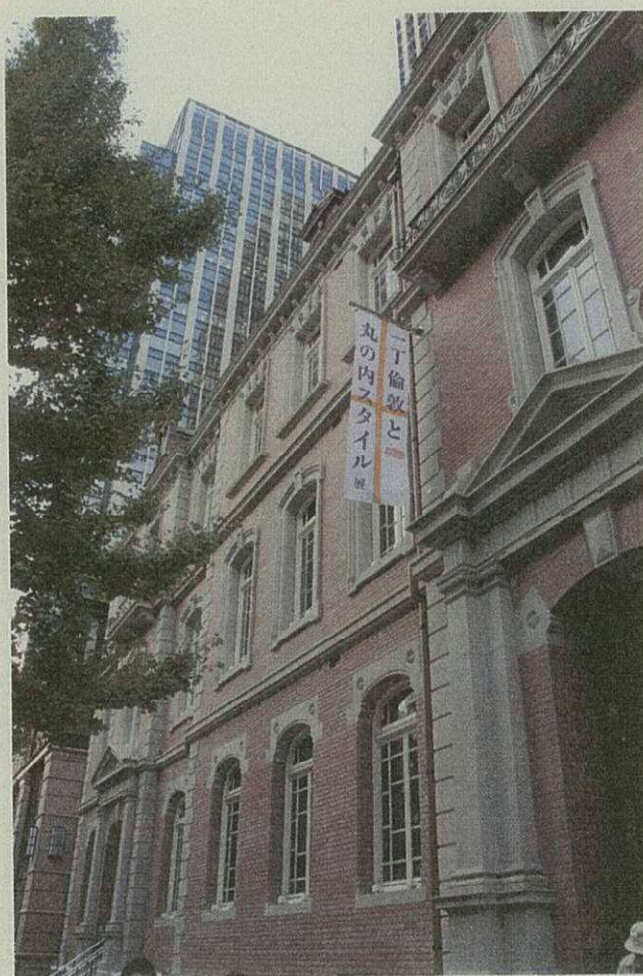
問 2 次に挙げる 4 つの設問 A~D の内から自由に 2 つを選び、解答しなさい。

- A. 芸術作品と観衆との関係とそれについての見方を歴史的に概観するとともに、現代特有の現象、近未来に想定できる現象について論じなさい。
- B. 別紙の二枚の写真 (①京都・中京郵便局、②東京・三菱一号館美術館) は、それぞれ「ファサード保存」、「復元」という、歴史的建造物の活用に対する異なるアプローチの代表例である。これをもとに、以下の二つの問いに答えよ。
- 1: 両者の手法の特徴を分析し、長所と短所を比較検討せよ。
  - 2: 「1」での考察をふまえながら、現代日本の都市における観光資源としての歴史的建造物の活用について、あなたの提言をまとめなさい。
- C. 伝統的な宗教的儀式 (結婚式、葬式など) や教育機関における各種催事 (入学式、卒業式、学位授与式など) の演劇的要素について、具体的に一つ取り上げてそれがどのような意味で演劇的なのかを説明し、また関係する人々や組織、社会にとってどのような機能を有しているのかを解説しなさい。
- D. 解答者各人の出身国において、日本映画が一般観客にどのような仕方で受容されているか、また自国の映画にどのような影響を与えているかを、他の外国映画 (特にアメリカ映画) と対比しながら、わかりやすく説明しなさい。

外国人留学生選抜・筆記試験【別紙】



① 京都・中京郵便局



② 東京・三菱一号館美術館

平成29(2017)年度  
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題  
文化動態論専攻 文学環境論コース 専門試験

[問題用紙は2枚あります。]

I. 次の英文を読み、後の問いに答えなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。】

出典：Espen Aarseth, "Narrative Literature in the Turing Universe" (Franco Moretti, ed.,  
*The Novel: Forms and Themes*, Volume 2, Princeton UP, 2006, p. 839, l. 1 - p. 840, l. 13)

(イ) 括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

(ロ) 下線部の問い "What are the consequences of an infinite text?" に対するあなた自身の  
の答えを示しながら、書かれたナラティブとしての小説の「終わり」「結末」につ  
いて論じなさい。

II、次の文章は、大正期に、菊池寛・里見弴などの間で闘わされた「内容的価値論争」について論じたものの一節です。後の問いに答えなさい。(白井吉見『近代文学論争 上』(筑摩叢書、一九七五・一〇)より)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

白井吉見『近代文学論争 上』(筑摩書房・筑摩叢書、一九七五年)一七五頁二三行

～一七九頁一行。

(イ) 菊池寛の主張と、里見弴の主張のそれぞれについて、両者がどのような文学作品を求めているのかを含めて、わかりやすく説明しなさい。

(ロ) あなたは、どちらの意見に賛成しますか。あるいはどちらにも賛成できませんか。具体的な作品を例に挙げながら、あなたの考えを述べなさい。